

平成30年度 無所属 堀 弘子 研究研修報告

■2018年夏地方議員セミナー 待機児童・保育士不足問題と地方行政

研修日時 平成30年7月31日（火）～8月1日（水） 2日間

研修場所 東京都（ホテルサルトフーズ 新宿）

行程	出発	到着	詳細	金額	備考
7/31 (火)	花川南9-3	麻生	バス 250円	250	支払証明書①
	麻生	新千歳空港	空港連絡バス 往復券 1,950円	1,950	領収書⑤
	新千歳空港	羽田空港	航空機利用	—	領収書④に含む
	羽田空港	ホテルサルトフーズ 新宿	バス 1,230円	1,230	領収書⑥
8/1 (水)	10:00～17:20 研究研修		2018年夏地方議員セミナー (ホテルサルトフーズ 新宿)		領収書③
	ホテルサルトフーズ 新宿	羽田空港	バス 1,230円	1,230	領収書⑧
	羽田空港	新千歳空港	航空機利用	—	領収書④に含む
	新千歳空港	麻生	空港連絡バス	—	領収書⑤に含む
	麻生	花川南9-3	バス 250円	250	支払証明書②
パック 料金 内容	往復航空券：7/31 新千歳空港→羽田空港 8/1 羽田空港→新千歳空港			50,280	領収書④
	宿泊費：ホテルサルトフーズ 新宿 1泊			55,190	

地方議員セミナー2018 夏

待機児童・保育士不足問題と地方行政

参加報告 報告者：堀 弘子

日程：2018年8月1日（水） 10:00～17:20

会場：全国理容生活衛生同業組合連合会ビル

講義1 保育をめぐる状況の変化と制度・政策の動向

講師：逆井 直紀さん（保育研究所）

講義2 保育の質と待機児童対策・施設整備の在り方

講師：猪熊 弘子（ジャーナリスト・名寄市立大学特命教授・東京都市大学客員教授・（一社）子ども安全計画研究所代理理事）

講師：村山 祐一さん（元帝京大学教授・保育研究所所長）

講義3-1 保育士不足の現状、保育労働の実態 何が問題か？

講師：箕輪 明子（名城大学）

講義3-2 保育士処遇を改善するために 何が必要か

講師：箕輪 明子（名城大学）

保育をめぐる状況の変化と制度・政策の動向

講師：逆井 直紀さん（保育研究所）

- ・子ども・子育て支援新制度の予備知識として、導入前後の事情

保育所はすべて総合子ども園への強制移行、市区町村の保育実施責任の維持、総合子ども園法廃案・認定こども園法改正（認定こども園への移行は強制せず）。

- ・新制度の実施主体は市町村 計画行政 事業計画

※子育て安心プラン等を踏まえた基本指針の改正

待機児童を解消するために必要な受け皿 22 万人分の予算を 2018 年度から 2019 年度までの 2 年間で確保し、2020 年度末には待機児童解消するとともに、2022 年度末までの 5 年間で 25 歳～44 歳の女性の就業率 80%に対応できるように 32 万人分の受け皿を整備するとしていたが、新しい経済政策パッケージにおいてプランを前倒しし、2020 年度末までに 32 万人分の受け皿を整備するとした。

※ 幼児教育・保育の無償化

- ・費徴収などは対象外

給食食材費の取り扱い 今後の課題

- ・自治体への影響

財政負担 私立分等 国 50% 都道府県 25% 市区町村 25%

公立分 市区町村 100%

（私感として国の施策は机上の論理であると思えない内容になっているのが現状なのか？）

講義2 保育の質と待機児童対策・施設整備の在り方

講師：猪熊 弘子（ジャーナリスト・名古屋大学特命教授・東京都市大学客員教授・（一社）子ども安全計画研究所代理理事）

全国的な調査によるデータからの待機児童の現状

昨年、待機児童数が多かった自治体がすべて回答しているが前年度より33%減少している。ただし、待機児童が増加した自治体もあり、国がかかげる2020年度末までに待機児童ゼロの目標達成は見通せない。

小規模保育・家庭的保育

0～2歳の待機児童は依然として多く、無償化によって需要が高まる可能性があるが、急激な少子化の影響もあり、自治体によっては、拡大傾向にはない。

配置基準はもっとも大切だが、配置基準について積極的な検討がされていない。

配置基準の見直しには保育士の確保が必要であり、どこの自治体も人員確保に苦慮している。

講義2 保育の質と待機児童対策・施設整備の在り方（後半）

講師：村山 祐一さん（元帝京大学教授・保育研究所所長）

・2018年7月国民生活調査によって働く母親が7割を超え、子どものいる世帯は減少しており、子どものいる女性は実数、割合ともに増加している現状にある。

・子どもの人口減少と待機児童問題

① 増加し続けている妻の就労世帯と保育所利用率の増加

② 待機児童の正確な把握と対応—入所できない子どもは全国平均4%—親のニーズは乳児から就学前まで、安心した保育、安心して小学校へ

講義3-1 保育士不足の現状、保育労働の実態 何が問題か？

講義3-2 保育士処遇を改善するために 何が必要か

講師：箕輪 明子（名城大学）

保育士不足によって定員を減らす施設も出てきている。

朝日新聞の調べでは、2017年118園、2018年は204園と増加傾向にある。保育士の求人倍率は1.3倍だが就業率は0.8と減少。

・一億層活躍の最も根源的な課題は人口減少に立ち向かう新第二の矢「希望出生率1.8」は放たれたが的が明確でないため、空中を彷徨っている。

・待機児童対策は、第一期、第二期、第三期とプランを策定したが、サービス量の拡大は掲げているが、それに見合った保育士の確保について本気の取り組みはされていない。

愛知県が行った保育労働実態調査

時間外労働の内容と頻度・長さ等の調査結果では、過酷な労働実態から仕事にやりがいを感じているが就業継続意欲には必ずしもつながらないという結果も見えてきた。

（私感として、保育のニーズは高まるその一方で保育士は減少傾向にあり、保育士の資格を持っているが保育士として就労しないことの要因は何か？処遇改善に他ならない。待機児童ゼロを本気で考えるなら報酬も含めた改善を行わなければならないと考える。都市圏において、住宅支援などが行われ、保育士の都市集中が起これば地方のサービス提供は困難になる。都市部が独自の対策を展開する前に、地方は本気で人材確保をかんがえるべきだ。）

平成30年度 無所属 堀 弘子 研究研修報告

■北海道における子どもにやさしいまちづくりの推進

研修日時 平成30年11月1日（木） 1日間

研修場所 士別市

行程	出発	到着	詳細	金額	備考
11/1 (木)	花川南9-3	札幌ターミナル	バス 330円	330	支払証明書③
	札幌駅	士別	バス 往復5,130円	5,130	領収書⑨
	14:00~17:30 研究研修		北海道における子どもにやさしいまちづくりの推進		
	士別	札幌駅	バス 往復5,130円	—	領収書⑨に含む
	札幌ターミナル	花川南9-3	バス 330円	330	支払証明書④
				5,790	

北海道における子どもにやさしいまちづくりの推進

参加報告 報告者：堀 弘子

開催日：2018年11月1日（木曜日） 14:00～17:30

開催場所：北海道 士別市勤労者センター

市議会に、市民団体から「子どもの権利条例」制定の陳情が提出されたことから 2013 年に条例を制定し、推進している士別市において、子どもの権利研究会が開催され、参加しました。

第1部 対談「子どもにやさしいまちづくりの推進に向けて」

牧野勇司士別市長、荒牧重人さん（子どもの権利条約総合研究所代表、山梨学院大学教授）

第2部 子どもたちの SOS をどのように受けとめるか

4 名の報告者から活動の報告があり、その後、名寄市立大学の松倉聡史教授をコーディネーターに 4 名の方をパネラーとしてディスカッションが行われました。

市議会に、市民団体から「子どもの権利条例」制定の陳情が提出されたことから 2013 年に条例を制定し、推進している士別市において、子どもの権利研究会が開催され、参加しました。

第1部では、「子どもにやさしいまちづくりの推進に向けて」牧野勇司士別市長、荒牧重人さんとの対談が行われた。

牧野市長は、子育て日本一のまちづくりを公約にかかげ 2013 年に「士別市子どもの権利に関する条例」を制定し、子ども参加のまちづくりを推進してきました。また、子どもの権利救済委員会を設置し、弁護士、元家庭相談員、元教育委員を配置して子ども虐待やいじめ等に対応してきた士別市の取り組み。荒牧さんからは、全国の子どもの権利条例制定に関する状況や制定後の状況についてお話がありました。

第2部では、「子どもたちの SOS をどのように受けとめるか」と題して 4 名の方から活動報告が行われた。

子どもの SOS をどの様に相談に結びつけるのか、結びついた相談をどの様に解決するのか、家庭が抱える問題や子どもの困り感は様々です。専門家や相談員の報告によってそれぞれの分野での関わりが大切だと考えました。

子どもの権利条例は、個々の権利を認め自分に権利があるように他者にも権利があることを認識するために必要です。

主催：NPO法人/国連NGO 子どもの権利条約総合研究所北海道事務所
共催：名寄市立大学コミュニケーションケア教育研究センター
協賛：札幌市子どもの権利条例市民会議（略称：こどけん）

第7回

子どもの権利
研究会

北海道における 子どもにやさしいまちづくり の推進 ～子どものSOSを受けとめる 地域・学校・家庭の役割と課題～

土別市の牧野勇司市長は「子育て日本一」のまちづくりを公約の一つに掲げ、「土別市子どもの権利に関する条例」を2013年に制定し、「子ども会」や「子どもサロン」などによる子どもたちのまちづくりを実行してきました。また、「子どもの権利救済委員会」も設置し、弁護士・元教師らによる「子育て委員会」を配置して子ども虐待やいじめにも対応してきました。2015年から2019年にかけては、「土別市子ども・子育て支援事業計画」も実施しており、すべての家庭が安心して子育てできる喜びを感じられるために、幼児期の教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進しています。

第1部では「子どもにやさしいまちづくりの推進に向けて」をテーマに、土別市の取り組みおよび全国の歩みを振り返り、その役割と課題を検討していきます。

また、第2部では、「子どものSOSをどのように受けとめるか」と題して、子どもの権利侵害をどのように相談救済に結びつけ、安心できる解決を導き出せるかを共に考えていきたいと思います。学校ではいじめ、不登校、発達のアパランスをもつ子どもへの支援等が課題となっており、家庭では子ども虐待の事例が多く見られます。子どもの相談・救済機関に関わっている専門家や相談員の報告や発言をもとに子どものSOSを受けとめる地域・学校・家庭の役割と課題を学校関係者や自治体職員、一般の市民とともに語り合いたいと思います。

2018年11月1日[木] 14:00～17:30

北海道 土別市勤労者センター

土別市東5条9丁目1607-14 TEL:0165-23-2482

第I部 対談

「子どもにやさしいまちづくりの推進に向けて」

牧野 勇司 土別市長

荒牧 重人 子どもの権利条約総合研究所代表（山梨学院大学教授）



第II部 子どもたちのSOSをどのように受けとめるか

コーディネーター 子どもの権利条約総合研究所北海道事務所長 松倉 聡史（名寄市立大学教授）

報告者 ■「子どもの現実や気持ちに寄り添う相談と解決」

せたがやホッと子どもサポート委員 半田 勝久（日本体育大学准教授）

■「子どものSOSを受けとめる」

土別市子どもの権利救済委員 野中 英樹（弁護士）

「居場所のない子どもたちに安心の場を」

札幌市NPO法人 子どもシェルターレラビリティ事務局 中島 圭太郎（弁護士）

旭川市「きらきら星」代表 村岡 篤子

参加費
無料

当日参加も歓迎
直接会場へ
おいでください

お申込み・お問い合わせ先

子どもの権利条約総合研究所北海道事務所長 松倉 聡史

TEL: 01654-2-4194 内線1307

研究室直通: 01654-2-4199-1307

E-mail: matukura@nayoro.ac.jp

平成30年度 無所属 堀 弘子 研究研修報告

■日本フッ素研究会

研修日時 平成30年11月4日（日） 1日間

研修場所 東京都（日本教育会館）

行程	出発	到着	詳細	金額	備考
11/4 (日)	13:00～16:00 研究研修		日本フッ素研究会	2,000	領収書⑪
				2,000	

※研修会に参加する目的だけで東京に行っていないため、往復の交通費は自己負担。

第37回 フッ素研究会参加報告

開催日：2018年11月4日

場 所：日本教育会館

参加報告 報告者：堀 弘子

虫歯予防フッ素はフッ化水素

フッ素の毒性についての最後のワンプース

成田 憲一さん

日本の歯磨剤メーカーが高濃度フッ素歯磨き剤を販売、テレビのCMでも高濃度で虫歯予防をうたっている。

アメリカでは、食品医薬品局（FDA）がフッ素入り歯磨き剤には、警告として6歳以下の子どもの手の届かない所に保管することとし、あなたが誤って歯磨きに使う以上の量を飲み込んだら、直ちに医療機関を受診するか中毒コントロールセンターに連絡することが記載されています。日本では、受診しても的確に診断できる医療機関はありません。また、中毒コントロールセンター也没有ありません。使用して何かあった場合は自己責任なのだと感じました。

フッ素：脳への影響とメカニズム

秋庭 賢司さん

新証拠として10月10日にカナダとアメリカで水道水フッ素化を巡るブレイクスルーがあり、3論文が環境系政府刊行物として発表された。

- ① カナダフッ素化地域の妊婦（1556人）は非フッ素化地域の妊婦に比べて尿中のフッ素濃度が2倍高い。
- ② カナダの報告では、ヨード欠乏でフッ素摂取の多い地域の成人は、甲状腺機能低下のリスクがある。調査した700万人の18%にヨード欠乏がみられた。
- ③ メキシコの妊娠中にフッ素曝露の多い母親は、子どもがADHAになり易い傾向がある。213組の母子での、母親の尿中フッ素濃度とADHDの子どもの発症率調査

水道水フッ素化にレッドカード

フッ素による甲状腺機能低下とIQ低下の報告や妊娠中の尿中フッ素濃度の上昇とその子どものIQ低下やADHDなどフッ素の脳への影響の報告が、最近相次いでいる。報告した関係者からも深刻な懸念が表明されており、水道水フッ素化は化学的根拠が失われている。

やはりフッ素の身体的悪影響は伝え続けなくてはならないと確信しました。今後もフッ化物の集団洗口の中止を求め、フッ素添加の波見崎剤の危険性も伝えていきたいと思います。